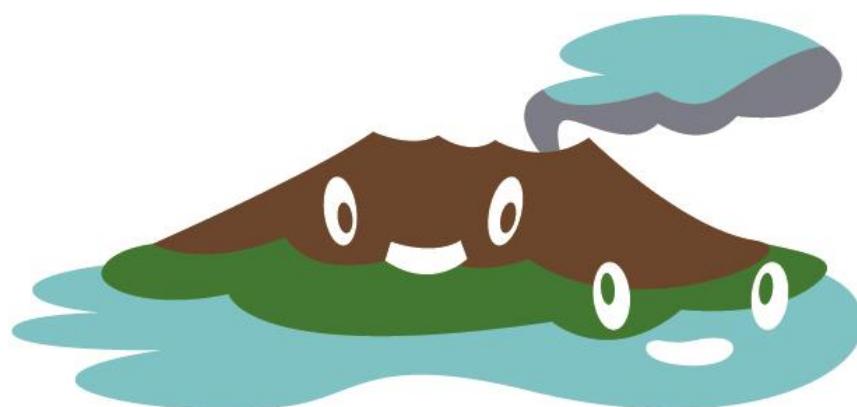


# 桜島・錦江湾ジオパーク推進計画

(2022～2025)



SAKURAJIMA-KINKOWAN  
**GEO PARK**

桜島 - 錦江湾 ジオパーク

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会

# 桜島・錦江湾ジオパーク推進計画

第1章 策定にあたって .....	2
1-1 策定の目的 .....	2
1-2 持続可能な開発目標（SDGs） .....	2
1-3 計画期間 .....	2
1-4 位置づけ .....	2
第2章 桜島・錦江湾ジオパークの概要 .....	3
2-1 経緯 .....	3
2-2 位置・面積 .....	3
2-3 テーマ・ストーリー .....	3
2-4 運営体制 .....	3
2-4-1 組織体制 .....	3
2-4-2 資金調達（財政） .....	4
第3章 全体構想 .....	5
第4章 基本方針 .....	5
4-1 「経済」 .....	5
4-2 「教育」 .....	5
4-3 「保護・保全」 .....	5
4-4 「運営体制」 .....	5
第5章 基本計画 .....	6
5-1 経済 .....	6
5-1-1 観光振興 .....	6
5-1-2 産業振興 .....	6
5-2 教育 .....	7
5-2-1 環境教育 .....	7
5-2-2 防災教育 .....	7
5-2-3 地球科学的教育 .....	7
5-3 保護・保全 .....	8
5-3-1 ジオサイトの適切な保全 .....	8
5-3-3 学術的根拠の充実 .....	8
5-4 運営体制 .....	9
5-4-1 協議会体制 .....	9
5-4-2 地域社会の参画 .....	9
5-4-3 ネットワーク活動 .....	9
5-4-4 広報・広聴 .....	9
第6章 計画の見直し .....	10

## 第1章 策定にあたって

### 1-1 策定の目的

桜島・錦江湾ジオパークでは、2016年3月に桜島・錦江湾ジオパーク推進計画（2016～2021）を策定し、観光・教育・保全・防災に一体的に取り組んできました。2021年の桜島を中心とした錦江湾奥部と鹿児島市・始良市・垂水市の全域へのエリア拡大審査の際に、日本ジオパーク委員会より示された当地域の課題を受け、2021年9月に課題解決のための計画として、アクションプランを提出しました。

桜島・錦江湾ジオパーク推進計画（2022～2025）は、桜島・錦江湾ジオパークのこれまでの活動実績及び日本ジオパーク委員会から示された課題を踏まえ、目指すべきビジョン（全体構想）や基本的な取組の方向性（基本方針）を明確にするとともに、地域と共有し、ジオパーク活動の活性化を図るための指針とすることを目的とします。

### 1-2 持続可能な開発目標（SDGs）

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）とは、2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、17のゴール・169のターゲットから構成される2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。



ユネスコ世界ジオパークは、ユネスコの正式プログラムであることから、SDGsの達成を目指し、協調して取り組むことが求められています。

日本ジオパークもユネスコ世界ジオパークに準じて運用されていることから、本計画については、SDGsの視点を盛り込んで策定します。

### 1-3 計画期間

本計画は、日本ジオパーク委員会による当地域の審査時期との整合性を図り、2022年度から2025年度までの4年間の計画とします。

### 1-4 位置づけ

本計画は、桜島・錦江湾ジオパーク推進の最上位計画とします。

## 第2章 桜島・錦江湾ジオパークの概要

### 2-1 経緯

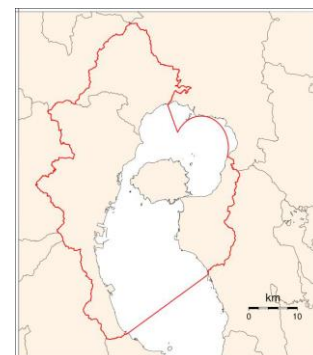
桜島・錦江湾ジオパークは、ジオの魅力・特性を活かした観光・交流の推進、自然科学への認識の向上、鹿児島への愛着や誇りの醸成を図ることを目的として、2013年桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会が設立され、同年9月に日本ジオパーク認定を受けました。

2016年3月には、桜島・錦江湾ジオパーク推進計画（2016～2021）を策定し、観光・教育・防災・保全に一体的に取り組む中で、ジオの価値の理解の深化と、貴重なジオ資源の保全に努めてきました。

さらに、2018年4月からは、始良市・垂水市が協議会に加わり、錦江湾奥の成り立ちやその恵みに関するストーリーが広がり、2021年2月に桜島を中心とした錦江湾奥部と鹿児島市・始良市・垂水市の全域へのエリア拡大が認定されました。

### 2-2 位置・面積

桜島・錦江湾ジオパークのエリアは、鹿児島県のおよそ中央に位置する始良カルデラを中心とする地域であり、錦江湾西側の薩摩半島東縁に位置する鹿児島市、薩摩半島と錦江湾東側の大隅半島の結末点に位置する始良市、大隅半島西縁に位置する垂水市の3市の行政区域と錦江湾の一部からなります。陸域と海域から構成され、陸域の面積は941km<sup>2</sup>、海域の面積は642km<sup>2</sup>で、総面積は1,583km<sup>2</sup>です。



### 2-3 テーマ・ストーリー

当地域は、100万年ほど前から巨大噴火を繰り返してきた活発な火山地域であり、多彩な火山地形を有し、桜島の噴火など日常的に火山の大地を体感できる場所です。また火山活動が地形や自然、歴史、文化、産業、人々の暮らしに大きな影響を与え、深くつながっていることから、「火山と人と自然のつながり」をメインテーマとし、ジオサイト等を通して、観光客や地域住民にわかりやすく伝えるために6つのストーリーで紹介しています。



### 2-4 運営体制

#### 2-4-1 組織体制

桜島・錦江湾ジオパークの運営は、桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会が担っており、国、県、3市の関係機関、観光・経済関係団体、地域・まちづくり団体、教育・研究機関及び展示施設、地元報道機関等で構成しています。

また、協議会の事務局は、鹿児島市世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課、始良市商工観光課、垂水市水産商工観光課が担っています。

また、下部組織として、実務責任者等で構成し、事業計画案の実質的な検討等を行う幹事会、個別業務推進のためのワーキンググループを設置しているほか、学術アドバイザーを置き、専門的見地からアドバイスを受けています。

## 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会

会 長：鹿児島市長

副会長：垂水市長、始良市長

委 員：関係機関（国・県・市）、観光・経済関係団体、教育・研究機関、展示施設、  
地域・まちづくり団体、地元報道機関からの参加者

### 幹事会

- ・協議会委員となっている団体の実務責任者などで構成
- ・事業計画並びに予算及び決算等を審議し協議会に提案するほか、協議会の事業に関する具体的な事項について検討する。

### ワーキンググループ

- ・幹事会に、個別事業推進のための「ワーキンググループ」を置くことができる。

- ・ジオ資源活用ワーキンググループ
- ・副読本編集委員会 など

### 学術アドバイザー

- ・必要に応じて専門的な見地から事業に関し助言を行う。

### 【事務局】

#### 事務局の行う定期的会合

- ・3市主管課長会議
  - ・3市担当者連絡会
- （3市の予算編成、具体的な事業計画に係る検討を行う。）

- ・定例会

3市担当課職員  
NPO 法人等

（事業や研修会等の情報共有、活動に係る意見交換などを行う。）

## 2-4-2 資金調達（財政）

協議会の収入は、鹿児島市、始良市、垂水市の負担金、民間事業者からの寄附金、グッズ販売収入により賄われています。

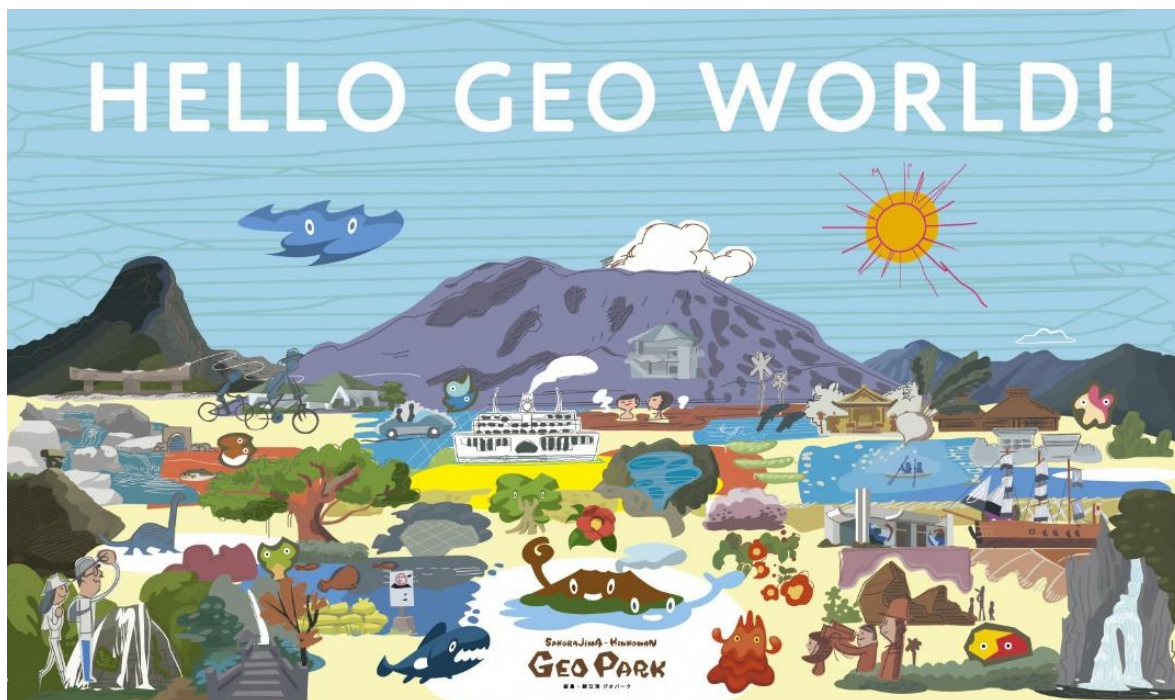
今後は、ジオパーク活動のより一層の推進のため、民間事業者から事業協賛金・寄附金等の協力を得ることや、グッズ販売収入の拡充等を推進します。

### 第3章 全体構想

本ジオパークでは以下の理念に基づき、ジオパーク活動を推進します。

#### ジオパーク活動を通じた「持続可能な地域づくり」

経済と環境（保護・保全）を両立するほか、国内外のジオパークと交流することで、将来にわたり持続可能な地域をつくり、次の世代へ引継いでいきます。



### 第4章 基本方針

ジオパーク活動を通じた「持続可能な地域づくり」を行うために、以下の方針をもとに活動します。

#### 4-1 「経済」

ジオ資源や関係者の活動を活かした地域経済の活性化を推進します。

#### 4-2 「教育」

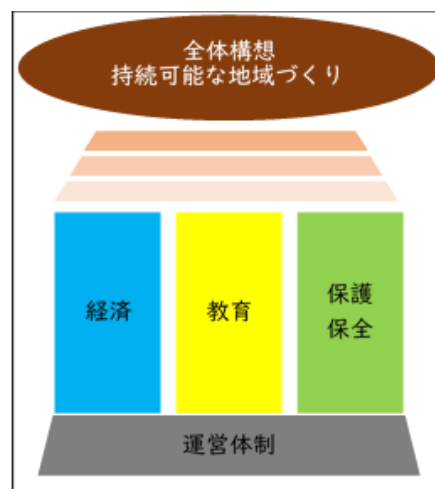
持続可能な地域づくりを担う人材を育成します。

#### 4-3 「保護・保全」

ジオ資源を保護・保全します。

#### 4-4 「運営体制」

継続したジオパーク活動を行う体制を構築します。



イメージ

## 第5章 基本計画

### 5-1 経済

当地域には、桜島・錦江湾をはじめとする優れた観光資源があり、外国人を含め多くの観光客が来訪しています。当ジオパークでは、これらの観光客に対し、ジオの魅力や特性を体感できるツアーや体験プログラムを提供し、ジオストーリーを提供できる認定ジオガイドの養成・スキルアップを行っています。

今後、アフターコロナを見据え、周遊しやすい環境づくりや魅力的な仕掛けを検討します。また、ジオの恵みにより生まれた食や産業とジオの魅力をつなぐことで、持続可能な地域となるための経済活動の促進を図ります。

#### 5-1-1 観光振興

多くの方が当ジオパークをより深く学び、楽しみながらエリアを周遊できるように、ガイドマップや看板を作成するほか、来訪者のニーズに応じた案内ができるようなガイドの養成を行います。

また、豊かなジオ資源を体感できるアクティビティやプログラムを造成し、どんな人でも楽しめるコンテンツ提供を推進します。

#### 5-1-2 産業振興

地域の特産品・地場産業が生まれたストーリーをジオパークの視点から解説することで、その価値の向上を図るほか、産業の活性化につながる取組を推進します。

基本方針	分類	主な取組	SDGs 関連項目
経済	観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ジオツアー</li> <li>・ジオイベント</li> <li>★認定ジオガイド養成・活動支援</li> <li>・体験アクティビティ等プロモーション</li> <li>・石の文化と火山のつながりプロモーション</li> <li>・案内所の設置・運営</li> <li>★ガイドマップ・エリアマップ</li> <li>★看板設置</li> <li>★モデルコース作成</li> </ul>	
	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ジオガストロノミープロモーション</li> <li>・ワークフロムボルケーノ</li> <li>★ブランド力向上・商品開発</li> </ul>	

「★」は、2021年9月に提出したアクションプランの具体的取組に係る取組。以降の表も同様。

## 5-2 教育

一般市民や親子等を対象としたジオ講座やジオキッズ講座の実施、エリア内の小学6年生の授業での活用に向けた副読本の作成、子どもたちの地域への愛着や誇りの醸成を目的とするスケッチコンクールの開催等、幅広い年代への教育活動を進めています。また、防災カードゲーム「詮議（桜島火山対策の巻）」を活用した防災講座を実施し、災害への備えや災害発生時の対応について参加者同士で共有する場をつくっています。

今後、中学校における補助教材等の作成や、高校・大学との連携に向けた取組の検討をすすめ、ジオの魅力や特性について理解を深めることで、自然科学への認識の向上及び郷土への愛着や誇りの醸成などを図り、桜島・錦江湾ジオパークで暮らし活躍する人材を育みます。

### 5-2-1 環境教育

ジオパークの次世代を担う子供たちに、地域のジオ資源に触れながら学び、楽しむ機会を作るほか、認定ジオガイドに対する現地研修や講座を開催し、地域に愛着や誇りを持つ人を育みます。

### 5-2-2 防災教育

桜島・錦江湾ジオパークには、活発な噴火活動を続ける世界的にも珍しい活火山・桜島があり、自治体や研究機関等が連携した防災体制が構築されています。防災に関する講座の開催や体験プログラムを実施し、火山防災に対する住民の理解向上を図ります。

### 5-2-3 地球科学的教育

エリア内の小学校・中学校・高校と連携し、ジオパーク学習を充実させることで、子供たちが地球科学と触れる機会を創出するほか、子供から大人までジオパークに関する理解を深められる講座を実施します。

基本方針	分類	主な取組	SDGs 関連項目
教育	環境教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>★スケッチコンクール</li> <li>★認定ジオガイドへのジオサイトに関する講座</li> </ul>	
	防災教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詮議</li> <li>・防災に関するブース出展</li> </ul>	
	地球科学的教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>★副読本</li> <li>・地域資源素材集</li> <li>★ジオ講座</li> <li>・ジオ出前授業（小中高）・中高との連携</li> </ul>	



### 5-3 保護・保全

桜島・錦江湾ジオパークでは、持続可能な地域づくりの礎となる貴重なジオ資源を将来にわたって良好な状態に保護・保全し、ジオ資源の価値を啓発するための方針や具体的取組を示すものとして、「桜島・錦江湾ジオパークジオ資源保全計画」を策定し、ジオ資源パトロールの実施や関係機関等で構成されるジオ資源保全会議を開催しています。

国や県、市の法令規制により保護されたジオ資源はもちろん、法令規制のないジオ資源についても、管理者や関係機関と連携を図りながら、適切な保護・保全に努め、次の世代に引き継いでいきます。

#### 5-3-1 ジオサイトの適切な保全

エリア内のジオ資源の保全のため、保全計画に則りながら現状把握・台帳整備を行い、関係機関等を含めた保全会議を開催し、未来に継承すべき貴重なジオ資源の保全に取り組みます。

#### 5-3-3 学術的根拠の充実等

新たなジオストーリーの掘り起こしを行いながら、その科学的根拠を充実させる取組を行います。

基本方針	分類	主な取組	SDGs 関連項目
保護・保全	ジオサイトの適切な保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ジオ資源台帳の整備</li> <li>★保全会議の開催</li> <li>・ジオ資源パトロール</li> </ul>	
	学術的根拠の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学術研究助成</li> <li>★ストーリーの掘り起こし</li> </ul>	

#### 5-4 運営体制

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会は、国、県、3市の関係機関、観光・経済関係団体、地域・まちづくり団体、教育・研究機関及び展示施設、地元報道機関等で構成していますが、ジオパーク活動を持続可能なものにするため、3市の事務局の連携体制の充実や他のジオパーク関係団体とのネットワーク構築が求められます。

持続可能なジオパーク活動には地域社会の参画を推進する取組が必要であり、ジオの魅力を広く伝えるため効果的なPRを実施する必要があります。

##### 5-4-1 協議会体制

3市の事務局を中心に関係団体等との連携強化を図り、持続可能なジオパーク活動を実施するための体制構築を図ります。

##### 5-4-2 地域社会の参画

地域住民のジオパークに関する理解・関心を高めるため、ジオパークに関わる機会を積極的に創出するほか、ジオパーク活動に参画する関係機関を増やすため、地域の関係団体等との連携を強化します。

##### 5-4-3 ネットワーク活動

国内外のジオパークと積極的に交流し、情報交換や支援を行うなど、相互のジオパーク活動をより充実したものとなるようネットワーク活動を行います。

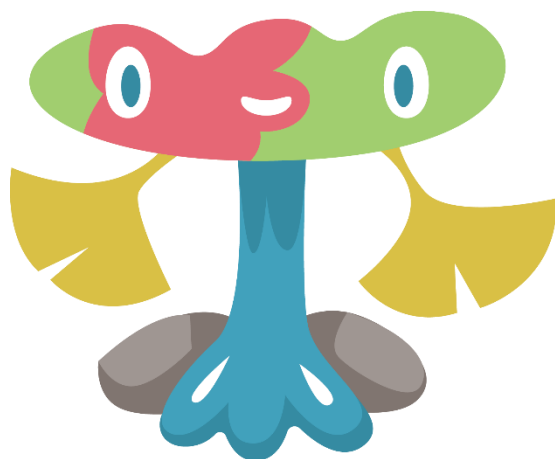
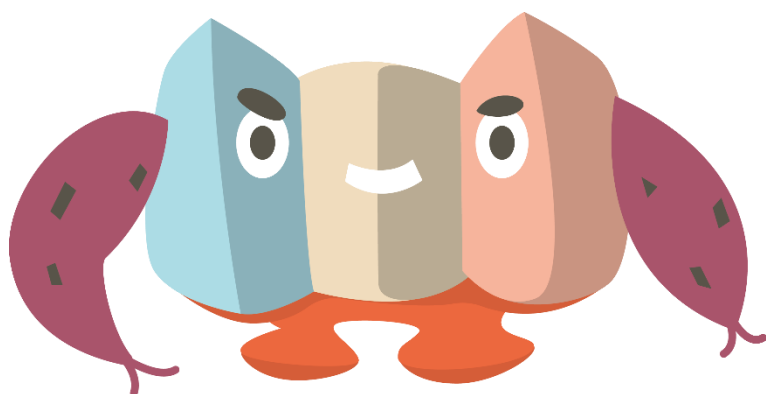
##### 5-4-4 広報・広聴

来訪者やエリア外の方々に対し、ジオパーク活動を効果的に広報するため、デザイン戦略に則った広報活動を行います。

基本方針	分類	主な取組	SDGs 関連項目
運営体制	協議会体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進計画</li> <li>★協議会・会議</li> <li>★世界認定を見据えた体制構築・協議</li> <li>・ 資金調達</li> </ul>	
	地域社会の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前トーク</li> <li>・ ジオカフェ</li> <li>・ エリア内での PR 活動・ ブース出展</li> <li>・ 民間企業との連携</li> <li>・ 大学との連携</li> </ul>	
	ネットワーク活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>★関連施設との連携</li> <li>・ 九州ジオパーク連絡会</li> <li>・ JGN(日本ジオパークネットワーク)</li> <li>・ GGN(国際ジオパークネットワーク)</li> <li>・ APGN(アジア太平洋ジオパークネットワーク)</li> <li>・ 他エリアとの交流</li> </ul>	
	広報・広聴	<ul style="list-style-type: none"> <li>★デザイン戦略</li> <li>★ホームページ・SNS の運用</li> <li>・ PR グッズ作成・配布</li> <li>・ エリア外での PR 活動・ ブース出展</li> <li>・ 各種アンケート調査による活動の見直し</li> </ul>	

## 第6章 計画の見直し

この計画は、桜島・錦江湾ジオパークの再認定審査時における自己評価表や審査結果を踏まえ、見直しを行うこととします。



## 桜島・錦江湾ジオパーク推進計画 (2022～2025)

2022年4月 策定

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会  
【事務局】

鹿児島市山下町11番1号 鹿児島市世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課内

TEL:099-216-1313 FAX:099-216-1320 Mail: [sekaiisan-geo@city.kagoshima.lg.jp](mailto:sekaiisan-geo@city.kagoshima.lg.jp)

URL: <http://www.sakurajima-kinkowan-geo.jp>